

マルコの福音書 第13章 11節

「彼らに捕らえられ、引き渡されたとき、何と言おうかなどと案じるには及びません。ただ、そのとき自分に示されることを、話しなさい。話すのはあなたではなく、聖霊です。」

言葉に窮することはある。大ぜいの前で語らなければならないとき。訴えられ弁明することを迫られるとき。いわれのない、不条理な訴えに応えるとき。困難が押し迫り、孤軍奮闘をよぎなくされるとき。実際この身に敵対する者の手がかかるとき。このようなあらゆる危機的場面で自分の言葉に息詰まるとき。戸惑うことは無いと言われる。案じるなと言われるお方がいる。言葉に息詰まっている者に語ることを示すお方がいると言われる。窮地に立つ者に語ることを示すお方がいる。そして、示されたことを話しなさいと促す。

いかなる状況においても、究極で語るべき言葉は自分から生まれるのではない。究極に立たされる自分は語るべき言葉に息詰まり、窮する者でしかない。しかし、その困窮の自分に語るべき言葉を与えるお方がいることを知っている。与えられた言葉を語るちからを注ぐお方を知る。困窮状況にある自分に乗り込む外からの言葉がある。この言葉にこころ開き、この言葉を聞き、この言葉を与えてくださるお方のちからにより語るとき、話しているのは自分ではなく、話させてくださる聖霊を体験し知る。

2023年1月6日